

たのしい たのしい 船穂校♪

倉敷市立船穂小学校 横山文朗

キッズキャンプ

二学期が始まり学校に子どもたちの歓声が戻ってきました。子どもたちのはつらつとした姿や笑顔に接すると、教員という仕事についてよかったなと思います。二学期も先生方と手を携えて子どもたちのためにがんばっていこうと思っています。

今週末にFUNAOキッズキャンプが船穂中学校区青少年を育てる会の主催で開催されます。このキャンプは、わたしが教頭としてお世話になっていた平成20年に第1回が行われました。ですから、今年で8回目になります。こうした野外体験活動が地域の方のおかげで継続実施され、小学生の時に参加した中学生が今度は班長・副班長として小学生をリードするということは、大変意義があり素晴らしいことだと思います。

わたしの子どもが小学生の時ですから、今から20年も前の話になります。仲間の家族と年に1回キャンプをしていました。最初のうちは、キャンプ場を借りていたのですが、わたしが生まれ育った家は山の中ですから、わざわざキャンプ場へ出かけて行かなくても、家の庭にテントを張ればいいことに気づきました。流しそうめんをしたり、虫取りをしたり、夜に川で魚を網ですくったりしました。中でも、家の裏山にあるお墓までお札を取りに行かせる肝だめしは、子どもたちにとってはたいそう恐ろしく、あぜ道に隠れて子どもたちを驚かす親たちにとっては、笑い転げるほどおもしろかったです。そのキャンプのことをもう30歳前後になる子どもたちはよく覚えていて、夏休みになるとどの家庭でも話題にのぼるそうです。

遊園地にも水族館にも連れて行ったのに、その時のことはよく覚えてはいないようで、自分の体を動かし仲間と協力して楽しんだことは強烈に心に焼き付いているようです。

キッズキャンプが晴天に恵まれ、子どもたちの心に残る体験になることを願っています。

